

都市地理 S G の研究課題

2008.11.10

立命館大学文学部

吉越 昭久

1. 共通で行う研究

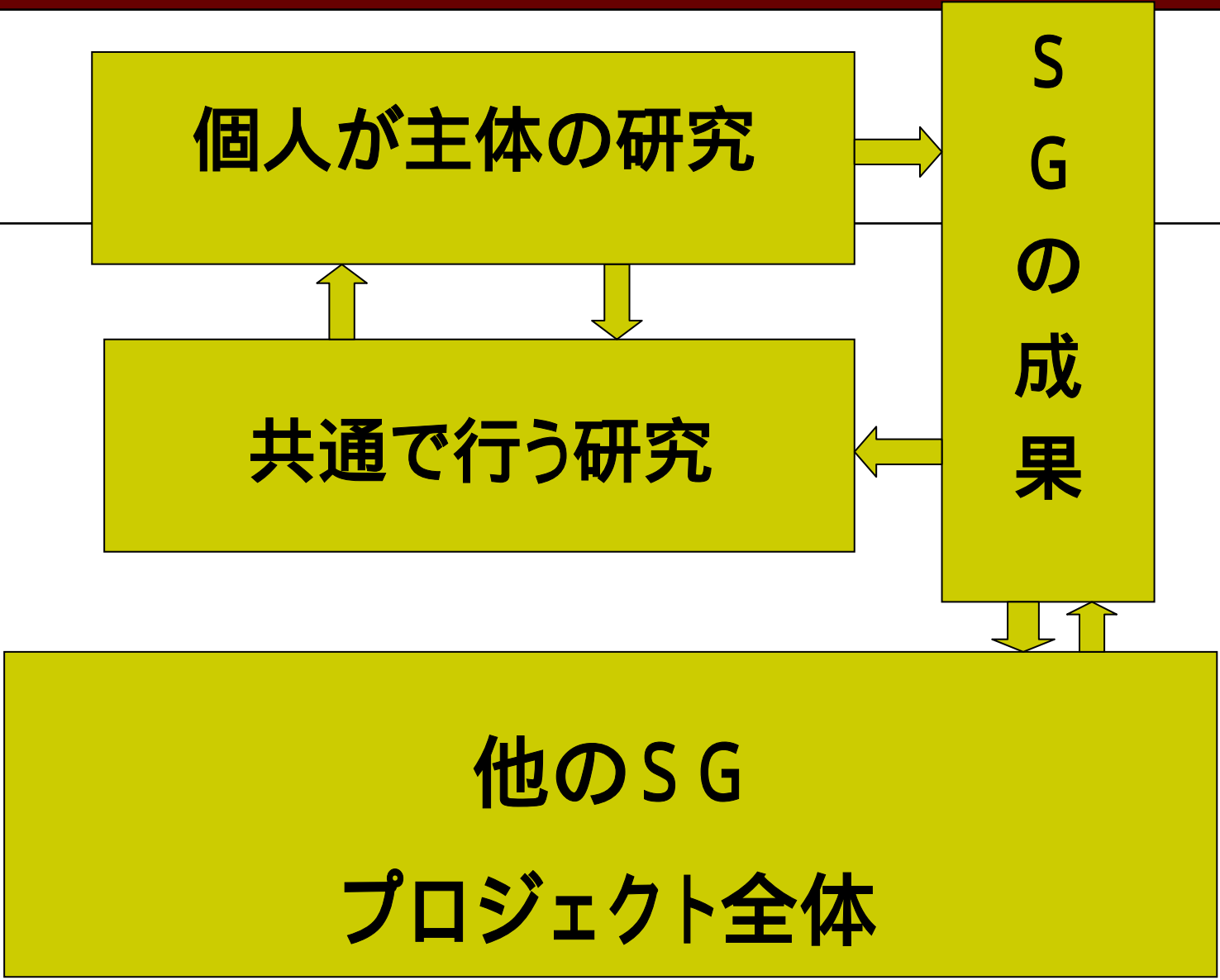
- 「各都市の発展に関する基礎的研究」
- 「各都市の水環境の変遷に関する基礎的研究」
- 「各都市の地図・空中写真の収集」
- 「各都市の文献・統計類の収集」
- * 可能な限り精密に、定量化を目指す
- * 法律・宗教などへの関与(個人研究が中心となるが、SG全体、プロジェクト全体に関わるようにする。)

2. メンバーの個人が主体となっ て行う研究

- 「各都市における宗教施設の分布と、水環境との関わり」(谷口智)
- 「土地利用分布からみたアジアのメガシティにおける空間構造の比較」(山下)
- 「東南アジアにおける首位都市の空間構造」(加藤)
- 「都市の地下環境に残る人間活動の影響」(遠藤)
- 「ソウルと台北における水環境変化の比較研究」(吉越)
- 「台北の都市発展と都市気温の上昇」(白)
- 「都市化と宗教施設の分布および水文環境との関係」(香川)

・
・

(判明分のみ記載)





3. 現地調査

共同調査

8月実施済み

ジャカルタ

時期未定

ソウル

個別調査

一部実施済み

東京・大阪

バンコク・台北・ソウル

4 . 共通する要因・異なる要因

□ 都市の発展

(**共通**) 核を中心に、周辺へ発展するパターン

(**相違**) 都市の拡大に鉄道が果たした役割

大: 東京・大阪 小: マニラ・ジャカルタ

副都市心の発達

顕著: マニラ・ジャカルタ

地下鉄の発達

東京・大阪・ソウル・台北

地下鉄の発達時期

早い: 東京・大阪

それに続く: ソウル・台北

(継続)

□ 水環境の変遷

(共通) 都市の発達が河川・水路の消滅を招く

(相違) 水路の利用

活発: バンコク

多少: 東京・大阪・ソウル・台北・ジャカルタ・マニラ

地下水利用

微少: 東京・大阪

普通: ソウル・台北

大量: バンコク・ジャカルタ・マニラ

地下水障害

大: マニラ・ジャカルタ・バンコク

中: 台北

小: ソウル・東京・大阪

(継続)

□ 宗教施設

(共通) どの都市にも,宗教施設の立地はみられる

(相違) 多い:バンコク

普通:東京・大阪・台北・マニラ・ジャカルタ

水環境に関係:ジャカルタ・バンコク

水環境に無関係:東京・大阪・ソウル・マニラ



4. 本日の都市地理SGの発表内容

- 吉越昭久「都市地理SGの研究課題」
- 谷口智雅「生活空間における地下水利用と井戸について」
- 一ノ瀬俊明「都市気候」(仮題)
- 香川雄一「都市地理班における現在までの地図収集状況」